

ポットゥプーリスピカさんによる演奏会がありました♪



ピアノ・バイオリン・ギター・オカリナなど様々な楽器で「さんぽ」「水戸黄門」「宇宙戦艦ヤマト」「ドラえもん」など沢山の曲を生演奏していただきました。とても心地の良い音色に心が温まりました♪

音楽ボランティアさんによる演奏会を朝から楽しみにしていたなかま達。いざ演奏が始まるとみんなノリノリに♪楽器を鳴らし、リズムに乗って踊って、歌って、聴いてと笑顔いっぱい、楽しい時間を過ごしました😊



～この街に生きる～

「誰もが人としてあたりまえに暮らせる街を」

4月に設置された子ども家庭庁。その背景には同じく4月に施行された「子ども基本法」があります。日本は、1994年に国同士の約束事である「子どもの権利条約」を批准しました。

しかし、その約束事を受けて日本が子どもへの施策をどうするかという基本的な法律はありませんでした。その為、障がいのある子どもの支援を考えたり、教育のことで子どもの支援を考えたりと、対応がバラバラとなっていました。

子ども基本法は、『子ども』のこと全般を横断的に扱う法律ということになります。そんな時期にアルプス福祉会でも、重症心身障がいのある子どもの放課後や長期休暇の居場所として、「放課後等デイサービス・えだまめ」を寿台9丁目に開設します。医療的ケアのあるお子さんも利用できるように、看護師も勤務します。

『えだまめ』という名称は、利用するお子さんのお母さん達が命名しました。その名称には、形は様々だけれど、みんなに好かれ、収穫後は豆腐等様々な料理に活用されていく、そんな「えだまめ」を、子ども達の成長に重ね合わせた親の想いが込められています。

アルプス福祉会は、おかげさまでこの街で活動をはじめてから37年目になりました。今年度も、『えだまめ』をはじめ、アルプス福祉会を、どうぞよろしくお願い致します。



【片桐 政勝】